

# あいちの印刷

# 4

2010.4  
No.461



犬山市郊外の1本桜

## もくじ

巻頭言 不完全だから個性的 / 経営革新委員長 佐藤壽記 .....	3
最低制限価格制度に関する各県工組の取組み .....	4
「諦めない変革」 .....	6
「急がれる業態変革」 .....	8
第4回「メディア・ユニバーサルデザイン コンペティション」作品募集 .....	9
企業見学会：北東工業㈱ .....	10
身近な催し物のお知らせ .....	11
印刷企業の倒産動向調査 / 帝国データバンク調査 .....	12
情報コーナー .....	13
業界短信 .....	14
事務局だより .....	14

## 巻頭言

# 不完全だから個性的

経営革新委員長 佐藤 壽記

先日、標記タイトルのセミナーを聴いた。「少子化」「所有欲の減少」「環境保全」など、人間の生き方に変化が起こり始めている現在では、不景気だからモノが売れないのではなく、世の中そのものが「移行期」を迎えている為に、今まで当たり前前に売れていたモノが売れなくなったり、ある特定のカテゴリーの商品が爆発的に売れたり、市場そのものが大きく変化しているのだという。

例えば、雑誌の廃刊が相次いだり日経電子版が登場するなど私たち印刷業界が大きく関わっている紙製品は苦戦を強いられ、逆に「オタク」と言われ、特定の人たちの文化だと思われていた市場が今や立派に市民権を得ています。

自分が得たい情報を検索したり、趣味の世界に没頭するというのは、「自分の欲しいものだけ」を得たいという買い手の心理が変化し、消費者が選択者となった事により、ブランドの定義が変化したと言わざるを得ません。

このような市場の下、私たち中小企業はこれからどの様にビジネスを展開していけばよいので

しょうか？どうする？どうなる？と考える前に「どうしたい」かが重要であり、今まで以上に会社の方向性、言わば得意技、もっと広義に解釈した言い方をすれば、企業のブランド化が必要なのであって、その会社の信念やこだわりで魅力を感じてもらって、人が集まる（集客できる）会社を構築していかなければならないのではないのでしょうか。

お陰さまで、私たち中小企業は身軽で企業としてもまだまだ不完全な要素がいっぱいです。

変化しようとする時には、それが良い方に転化される事が多く、何のしがらみのないところから個性的なブランドが生まれてくる可能性を秘めているとも言えます。

組合でも、「業態変革」「ワンストップサービス」など、自社の強みを発揮させる為の提案を多く提供しております。

どうブランド化するかは各々の会社次第です。

その中からヒントを得て個性的な企業を構築し、この変化の中で生きていこうではありませんか。



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

ヨニカミノルタに全てお任せください。

色 校 正 フ ル ラ イ ン ア ッ プ !

Digital Konsensus Premium  
Ultimate Edition

Falboard AQUA 新発売

Pagemaster Pro 5500N

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社 中部営業部：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F TEL.052-231-6277(代)

## 最低制限価格制度に関する各県工組の取組み



平成21年度中部地区印刷協議会下期会議の全体会議では、分科会・理事長会報告に続き、「最低制限価格制度に関する各県工組の取組み」に関して報告が行われました。報告(要旨)は次の通りです。

### 富山県工組

久郷孝良事務局長が報告

21年度は、県からの回答に向け、アクションを起こす予定でしたが、担当者の交代などがあったため、直接交渉するにはいたりませんでした。

いま、中小企業団体中央会をとおして、他団体とともに県議会へ各業種の要望事項を提出しています。その結果を見て、また県と交渉をして行く方向です。

### 石川県工組

斎藤武志常務理事が報告

石川県の印刷の担当は、総務部管財室です。組合との定期的な意見交換会等で最低制限価格制度導入の申し込みを行っていますが、現状、オープンカウンター方式と呼ばれる「自由参加型見積制度」が導入されていることもあって、残念ながら実現にはいたっていません。

金沢市については、すでに平成18年の4月から予定価格が130万円を超えるものについては、予定価格の三分の

二以上の価格が最低制限価格として設けられています。金沢市については最低制限価格制度が導入されていますが、石川県については、まだ組合は交渉中という段階です。

### 三重県工組

三浦義秀副理事長が報告

これまで県の最低制限価格制度導入に対する回答は非常に難しいものでしたが、ここ3年くらい前から大きな変化が見られるようになりました。

21年度、要望書に対する県からの回答書の中に、最低制限価格制度について「印刷物の入札において、適正な価格で契約するためには、原材料やコストを反映した仕様書、設計書の作成が不可欠と考え、貴組合の支援をいただき仕様書等の精度向上に努めているところです。今後、仕様書等の精度を更に高めるとともに、他県等の状況を調査しながら最低制限価格の導入について、引き続き、検討してまいります」との記述がありました。

回答書にもありましたように、当組合に一昨年「仕様

書の作成について教育をしてほしい」との要請があり、短い時間ではありましたが、県職員約300人に仕様書の基本的な作成について説明をし、また適正価格の積算については、組合員が日頃使用している「積算資料・印刷料金表」(経済調査会発行)を進呈するなど、組合として全面的な協力体制をとり、県議会議員の力も借りながら、1日も早く、この制度が導入されるよう、官公需対策委員会で頑張っているところです。

### 愛知県工組

木野瀬吉孝副理事長が報告

今年度、直接、県の産業労働部に出向き、最低制限価格制度の導入に関して話し合いたいと申し入れました。もはや出納事務局、管理課などの窓口では結論が出ないと判断した結果です。そして、昨年11月30日に、県の産業労働部長、課長、担当者、私どもの理事長、専務理事、私に加わり、胸襟を開いて話し合うということで、会食しました。

しかし、結論としては産業労働部に「産業労働部でありながら、産業の足を引っ張っているということを自覚してください」と言わざるを得ず、また中小企業振興に関しても失望させられました。

県側はそういう感覚ですから、まだまだいろいろな要望をして行かなければいけないと思います。

先達でも中部経済産業局の地域経済部長と話し合いました。しかし、結果は県との話し合いと同様でした。私は「せめて、昨年の価格を表示しながら入札するような、『これ以下でなかったら駄目ですよ』というような提示の仕方での入札、電子入札するのは止めてください」ということを申し入れました。

また、このような申し入れをするためには、入札に実際に参加して実態を知る必要があると考え、ある入札に参加しました。(価格が)限界にきていること、そして

ゲーム感覚で入札されていることを実感しました。

このような実態を各県で怒り、そして改善して行くためにも、新設された「取引公正化委員会」の活躍に期待します。

### 岐阜県工組

鈴木岳志理事(不正取引対策委員長)が報告

県から、最低制限価格制度導入(4月1日より)の予定をいただいています。

最低制限価格制度導入の取組みは、昨年、富山で行われた中部地区協上期会議から始まりました。特に岐阜に戻ってから、四橋理事長のリーダーシップのもと、まず不正取引対策委員会を中心にしたプロジェクトチームを結成しました。そして、要望書の作成を通じ、どうしたら効果を上げて行くことができるのかを話し合いました。そこで3つのポイントをつくりました。

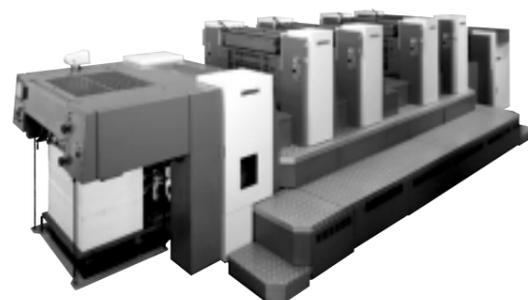
一つ目のポイントは、知的所有権、著作権の問題、それから電子調達の問題など、課題はいくつもありますが、まずは最低制限価格制度導入の一点に絞り込むということです。

二つ目のポイントは、短期間で成果を上げるということです。短期間で成果を上げるために、中小企業団体中央会を通さずに、直接県と交渉に当たる、直接話をして行くという方向付けをしました。知事(古田肇)さんへの直接陳情の実現にいたる背景には、県議会議員の方々のご尽力、また四橋理事長に強い人脈があったことも要因としてあります。

三つ目のポイントは、最低制限価格制度に先入観、固定観念を持たない人、そして官公需の仕事へのかかわりが比較的少ない人を選んだことです。

以上の3つのポイントにより、富山で行われた中部地区協から、約半年間でここまでこぎつけることができました。

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



# SHINOHARA 75 VIHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所

本社 〒421-1222 静岡県静岡市葵区産女1022  
TEL(054)276-2008 FAX(054)276-2010

名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147  
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

SHINOHARA  
1919



紙をクリエイトする  
**Axuas**



## Axuasは

自然にやさしい紙の流通を目指します。

再生紙・非木材紙、植林木使用紙、  
FSC商品およびECFパルプ製品など、  
常に環境を配慮した提案・提供を  
推進してまいります。

## 株式会社 アクスアス

代表取締役 大河内 健二

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目 25 番 35 号

紙営業部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522

包材営業部 TEL(052)220-5507 IP電話(050)3533-5612 FAX(052)220-5517

管理本部 TEL(052)220-5571 FAX(052)220-5565

東京洋紙営業所 〒103-0021 中央区日本橋本石町 4-5-3 TEL(03)3242-5561

東京包材営業所 〒130-0021 墨田区緑 2-10-13 コーポ今井 403 号 TEL(03)5600-3070

Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail [info@axuas.jp](mailto:info@axuas.jp)

# 「諦めない変革」

箔押業からスタートして新分野に挑戦  
「食用純金箔」「フィルム製剤」など開発



講演する月岡忠夫社長

㈱ツキオカ  
月岡 忠夫 社長

平成21年中部地区印刷協議会下期会議では、全体会議に続いて、業態変革実践事例発表会が行われ、㈱ツキオカ（本社・岐阜県各務原市松本町2-451、電話058-383-2911）の月岡忠夫社長が同社の業態変革の事例を紹介した。以下はその要旨である。



箔押された商品（パッケージ）

28歳で独立して「箔押業」を開始  
私が印刷業界に入ったのは、印刷インキの販売会社の営業マンとしてでした。そして、その会社に約9年間、勤務して独立しました。「箔押業」を始めたのです。1966年、私が28歳の時でした。  
独立後は、箔押業者として技術の向上を図り、新しい機械も導入しました。いま現在、機械設備としては私どもは日本で二番目ですが、技術や管理を含めると、「日



「食用純金箔」と「フィルム製剤」の商品

本一の箔押業」と評価されています。おかげで、全国から仕事をいただいています。

箔押技術を活用して「食用純金箔」を開発  
1980年代、箔押業者として経営基盤を築き、全国的にも知名度が上がって行きましたが、私はバブルが弾ける3年前に「このバブルは崩壊する」という予想を立てました。そして、バブルが崩壊すると、売上が確実に落ち

るだろう、落ちる前に「何か自分で新しい商品を考えて作ろう」と思いました。

確か1991年だったと思うのですが、私はたまたま机に座っていたときに、10年前の新聞記事が私の頭の中にひらめいたのです。それは何かというと、水に溶けて食べられるフィルム（可食フィルム）が開発されたという記事です。可食フィルムの上に純金箔を乗せ、そして箔押技術で文字や絵柄をフィルムの上に箔押します。フィルムごとだったら、簡単に指でつまんで、ケーキの上にも、コーヒーの上にも純金箔を乗せることができます。これが「食用純金箔」です。

新商品開発の大きな壁は「社員」

しかし、食用純金箔の製品化には5年の年月がかかりました。いろいろな壁、ハードルがありました。新しい事業に取り組む時、私どもの例で言えば、食用純金箔の製品化ですが、その一番の問題は私の体験から言うと「社員」です。社員が一番の壁でした。私が新商品（食用純金箔）を開発するためにお金と時間を使います。そうすると社員は「本当に社長は我々のために働いているのだろうか？」と思い、真意をなかなか理解してくれません。社員の白い目、これは体験しないと分かりませんが、社長にとって大きなプレッシャーとなります。ですから、中小企業が新商品開発に取り組む時、中心人物は必ず社長でなければ駄目です。社長以外の他の人がやろうとすると、その人は必ず潰れてしまいます。

次にオリジナルの「可食フィルム」を開発

食用純金箔には可食フィルムが不可欠です。しかし、可食フィルムを製造している会社は大きな会社で、私どもの要望をなかなか受け入れてくれません。

そのような悩みを抱えていたある日、2001年のことだったと思います。私どもの西村美佐夫開発部長が、私の目の前に現れ、可食フィルムを差し出しました。西村部長は一人でコツコツと研究し、ツキオカオリジナルの可食フィルムの実用化に成功したのです。

しかし、私は「可食フィルムを事業化すべきか？」と迷いました。私は60歳を超えていました。60歳を超えて新しい事業をやるのが、どれほど大変なことが自分で体験して知っています。それで、悩んだのです。悩んでいたところ、あるニュースが報じられ、それがきっかけ



㈱ツキオカの本社（岐阜県各務原市）



ポスト箔押機（人の姿から機械の大きさが分かる）

で私は可食フィルムを事業化する決断をしました。そのニュースは、田中耕一さんのノーベル化学賞の受賞です。2002年のことでした。その時、私は非常に怒ったのです。つまり、「自分のところの社員がノーベル賞を受賞するだけの、すごい機械を発明したにもかかわらず、島津製作所の社長は知らなかった。とんでもない、けしからん社長だ！」と。ですから、後々、「月岡忠夫という社長は、自分のところの社員が超優秀なものを発明したにもかかわらず、握り潰した」と言われたいために、「やろう！」と決断したのです。

更に「フィルム製剤」の分野に進出

それで可食フィルム製造工場を新設しました。約3億円を投資しました。それが2003年です。しかし、注文はきませんでした。私は「投資した3億円をどうしよう」と考えました。そして、ひらめいたのです。

「フィルムに薬を入れて、フィルム製剤を作ろう！」  
これは日本で最初に私が考えました。但し、私どもでは薬など製造できませんから、どこかの大学の先生と一緒に研究して作ろうと考えました。そして、岐阜

**同業者のための印刷工場**

- ◎厚紙パッケージ箱全4色印刷始めました  
-0.04mmの厚紙から0.8mmまでの厚紙まで-
- ◎カラーもモノクロもページの印刷得意です
- ◎箱全シルバースターでの印刷もできます

印刷から製本・発送まで自社一貫体制

**大日印刷株式会社**

☎0564-62-8461(代)

◎田辺工場 新田郡中田町大字坂崎字石ノ坂46-1 FAX:0564182-8463  
http://www.sk2aita.ne.jp/dainichi/ E-mail:mail@p-dainichi.com

**お役に立てる印刷機材の総合商社**

創業1889年の盛功社は2009年、120周年を迎えます。  
3世紀にわたるご愛顧をはずみとして新たな未来へ

- 印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
- DTP関連機 ●その他印刷諸材料

盛功社は120年

**株式会社 盛功社**

〒461-0014 名古屋市中区栄3丁目17番地  
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社

**メイカミ**

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018  
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418  
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場  
TEL 0568 28-2049

株式会社 **イノウエ**

**Inoue**

〒462-0854 名古屋市中区若菜通4-18-1  
TEL 052/811-8211 FAX 052/811-3011  
H.P. http://www.k-inoue.co.jp  
E-mail : net@k-inoue.co.jp

大学、岐阜薬科大学の協力をいただき、「嚙下(えんげ)障害者」(水や錠剤などをゴクンと飲み込めない障害)を対象としたフィルム製剤の製造方法を確立しました。

大学の先生と一緒にフィルム製剤の研究・開発にあたった西村部長は「薬学博士」の学位を得ました。箔押からスタートした会社に、薬学博士が生まれたのです。

いま、私どもには西村部長を含めて薬学博士が2人います。それから薬剤師が4人、農学博士が2人います。いま、約130人の社員がいますが、このように多くの博士号、資格をもった社員がいることが私自身、信じられない思いです。

「2010上海万博」で商品を販売

私が考え、去年の4月に開発した商品が「健活フィルム」(燕の巣とプロポリスの2層フィルム)です。インフルエンザ予防対策用の商品です。「健活フィルム」という名前も私が付けました。

「健活フィルム」に関連することですが、これが今年の5月1日から10月31日までの6か月間、上海で開催さ

れる「2010上海万博」で販売されることが正式決定されました。販売される場所は、国連開発計画の執行機関の「DEVNET(デブネット)」(国際情報発展協会)が会場の中心地、国連エリアに建設する「国際交流館」です。館の中に「日本文化街」(日本商品販売エリア)が設置され、日本の商品が販売されるのですが、その一つに「健活フィルム」が選ばれたのです。

生き残りのために「業態変革」が必要

新商品開発には困難が伴います。しかし、企業は何か新しいことをやらなければならないのです。これは印刷業界だけではないと思います。どんな事業であっても、常に新しいものをつくる必要があります。「企業30年説」という言葉があります。やはり30年も時間が経過すると、世の中が変化し、ニーズも変化します。その変化に対応して、新しい商品を開発し、販売して行かないと、企業に寿命がくるといっていいでしょう。業態変革は、あらゆる業界、企業がやらなければいけないことです。そうでないと、生き残って行けないことは確実です。

## 全印工連・水上光啓会長の挨拶文

### 「急がれる業態変革」



全印工連  
水上 光啓会長

全印工連では2004年に業態変革を提唱し、6年を迎えます。昨年11月には実践事例を中心とした「業態変革・ワンストップサービス実践ガイドブック Ver.2」を発行しました。ぜひ活用していただき、ワンストップサービスにより、収益を拡大するためにも、身近なことから業態変革の実践にチャレンジしてほしいと思います。

一方では、実用価値から感性価値へ...という話が出ています。全印工連では経済産業省の支援を受けて、感性価値創造へ取り組んでいます。本年1月31日から2月4日まで、米国で「ニューヨーク国際ギフトフェア2010冬展」が開かれ、そこに出席しました。いま、海外の印刷市場の可能性についても研究を進めています。

印刷物は実用品のため、なかなか価格競争を避けられません。そして、実用価値だけではスピードや安さが追求されます。これでは、ネットを中心とし

た新しいメディアに勝つことはできないのでしょうか。日本の印刷技術、印刷製品は世界一であり、紙の優位性を活かし、日本人の美意識や感性を印刷にプラスすることで、印刷に新しい可能性が見えてくると確信します。

また、今後、大切なのはメディアユニバーサルデザイン(MUD)への取り組みです。印刷業界は、いままで健常者以外に対してなかなか目が行きませんが、障害者や子ども、外国人の人たちへの配慮も必要でしょう。全印工連では、色の使い方、デザイン、文字の使い方などに工夫をこらして、人に優しい印刷物を提供して行く運動を展開しています。今年で3回目となるMUDコンペティションは全国から170点を超える作品の応募をいただきました。第4回となる22年度は7月にコンペティションを行いますので、引き続き、ご協力をお願いしたいと思います。

それから環境問題への対応も大きな課題の一つです。地球温暖化対策のために新しい仕組み、形ができつつあり、環境ビジネスが現実味を帯びています。日本印刷産業連合会でもグリーンプリンティングやカーボンフットプリントへの対応が進んでいます。環境に配慮した印刷製品づくりが競争力にもつながってくるので、積極的に取り組んでいただき、勉強もしていただきたいと思っています。

(本稿は、平成21年度中部地区印刷協議会・下期会議の席上、水上会長より寄せられた挨拶文を掲載したものである)

全日本印刷工業組合連合会・MUD推進プロジェクト

第4回「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」作品募集

5月21日(金)まで作品募集

全日本印刷工業組合連合会・MUD推進プロジェクトは、第4回「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」の作品を募集している。今回も学生の部及び一般の部の2部門を設け、入選作品は7月22日から24日にパシフィコ横浜で開催される「PRIMEDEX2010」の全印工連ブースで展示する。表彰式は展示期間中の24日同会場で開催。入選通知は6月14日の予備審査、6月15日の本審査を経て6月22日入選者に行う。

### 【募集要項】

応募資格 一般の部/印刷会社、企画制作会社などに所属。プロ・アマ不問。学生の部/大学・短期大学・専門学校・高等学校に在職する学生、生徒。

募集対象作品 2009年7月以降に制作されたものとし、過去に他のコンクール、コンペティションなどに応募した作品は対象外。但し、47都道府県印刷工業組合主催のコンクール、コンペティションに応募した作品は応募可能。

応募方法 作品1点(印刷物または出力紙)とデータ1点(CD-ROMにai/eps/jpeg形式でアウトライン化して保存したもの)を、出品申込書・出品応募票とともに送付(入選作品に選ばれた場合、提出データをもとに展示パネルの制作を行う)。

出品料 応募作品1点につき、一般3,000円、学生無料(5月21日までに振り込む)。

振込先 口座名義「全日本印刷工業組合連合会」三菱東京UFJ銀行八重洲通支店:当座預金9007457、みずほ銀行京橋支店:当座預金0114231、りそな銀行東京中央支店:当座預金1362911、商工組合中央金庫本店:当座預金2021935(振り込み手数料は各自負担)。

授与賞 一般の部/最優秀賞(グランプリ)・表彰楯、

賞金30万円、副賞。優秀賞(準グランプリ)・表彰楯、賞金10万円、副賞。佳作・表彰楯、副賞。

学生の部/最優秀賞(グランプリ)・表彰楯、賞金10万円相当、副賞。優秀賞(準グランプリ)・表彰楯、賞金5万円相当、副賞。佳作・表彰楯、副賞。

締切日 5月21日(金)当日消印有効。

作品例 カレンダー、マップ、パンフレット、サイン、パッケージ。チラシ、ポスター、ラベル、ゲーム(UNO/トランプ)、年賀状など。

### 【応募・問い合わせ先】

全日本印刷工業組合連合会MUD推進プロジェクト「第4回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係(〒104-0041東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館4階 TEL03(3552)4571 <http://www.aj-pia.or.jp/>)

### 第3回「技能検定実技試験会場認定工場」決まる

技能検定実技試験会場認定工場が決まりました。第3回目となる今回は、プリ・テック㈱、半田中央印刷㈱、㈱丸和印刷、長苗印刷㈱(春日井工場)、㈱奉仕堂印刷、㈱豊橋印刷社の6工場が認定されました。

認定工場は、技能検定の実技試験を行う際に、受験生がより良い環境で受験できること、合格率向上を目的として制定されたものです。また、工場では、自社の機械状況を客観的に診断でき、更に、自社での機械整備が良いことを顧客にアピールできる利点があります。

(なお、認定工場は、実技試験会場としてご協力いただけることが条件となっています)



認定工場認定プレート



認定工場認定状

安心を明日につなぐ

火災共済

お問合せは愛印工事務局へどうぞ!!

(( 小さな掛金 ))

(( 大きな安心 ))



愛知火災共済協同組合

本部 〒460 名古屋市中区栄三丁目32番26号 TEL 052 (251) 6 2 8 1 (代)  
(安藤ビル7F) FAX 052 (251) 7 2 7 3

平成21年度・経営革新委員会事業

企業見学会:北東工業(株)

小ロット印刷物は  
「WEB TO PRINT」  
が標準化

北東工業(株)での記念撮影  
におさまる見学者一行



オフからインクジェットへの変革  
今だからこそあるチャンス

愛印工組/経営革新委員会事業として、北東工業(株)の企業見学会を3月6日(土)に実施し、21社34名が参加しました。

企業見学会開催にあたり細井副理事長が次のように挨拶しました。「経営革新委員会事業の企業見学会に参加していただき、ありがとうございます。本日はあいにくの天気となりましたが、業界関係者多数のご参加により、見学会ができますのは、非常に意義があると思います。また、本日訪問する北東工業は、WEBを活用した受注、来店受注のみのスタイルで、営業を置かない革新的な印刷会社であり、先駆的な業態変革をしてみえる企業です。参加者の皆様には十分に刺激を受けていただき、これからの我々印刷会社にとって避けては通れないデジタル化を含むWEBとの共存の問題解決するためのヒントになればと思います。このような勉強会を活用して今後の企業展開、戦略の検討材料にしていただきたいと思います。また今回は、日帰りバスでの企画となり、少々窮屈なタイムスケジュールとなりますがご了承下さい。この機会を活用し、ご参加いただきました皆様同士の交流や、訪問先をしっかりと見学し勉強していただきたいと思います。本日はよろしくお祈りいたします。」

【訪問企業】

北東工業株式会社(東條秀樹代表取締役社長)

設立:昭和47年8月

本社:大阪市中央区上町1-19-4

業務内容:オフセット/デジタル印刷、CTP出力、大判カラー出力、製本加工、シール・ラベル制作。WEB上で印刷、製本加工の注文を受け付ける総合印刷通販サイト「プリントビズ」を展開。『安心の生産工場』をスローガンに、最新鋭の生産設備と管理体制で品質の安定化を図る。

見学に先立ち、東條社長から同社の概要と取り組み、展望などの講話を聴講しました。

「これからの印刷業界の小ロット生産は、WEB TO PRINTが標準化します。PC1台でだれでも作れてしまう時代に突入することは間違いなく、中小規模の印刷会社はインターネットを利用したプリンターに変貌していくことを覚悟して行かなければいけないと思います」と、業態変革に挑戦し続けている先駆者から厳しい話があり、更に、作り手も移動している事実として、「コピーライター、デザイナー、イラストレーターなどの需要が消えつつあります。つまり、そのような職人を必要としない時代に進み出していることを十分に理解し、以前の印刷会社のような粗利をはじき出せる部分が減少することは時間の問題です。同時進行として、制作部分の素人化が始まっている今日では、大手印刷会社は別として、中小零細印刷業者は早い時期から自社の生き残る方向性を見だし挺入れをしていかなければ、今この時代



会社概要を聞く見学者一行

を勝ち残れないと考えます」と、現状が指摘されました。そのような中で、今後の業界への期待としては「印刷(オフセット)からプリンター(インクジェット)に変革していく今だからこそ、様々なビジネスチャンスがあることは確信できます。ですから、後ろ向き、消極的にならず努力して進んでいくことが必要になってきます」と、印刷業界の積極姿勢の必要性が語られました。

また、社内環境について、「WEB受注への対応として、窓口、制作部署の24時間体制、料金システム、クレーム処理など、社員教育を徹底して取り組んでおり、社内ミス、お客さまクレーム処理を全社員で考える100%報告書システム(イントラネット利用)を採用しています。これにより、処置・効果まで全社員に落とし込みを計り、社内環境をクリアにして改善して行く事を心掛けています」と、社内環境の取り組みの一端が披露されました。

続いて、北東工業(株)東大阪工場(東大阪市菱江4-6-44)へ移動。東大阪工場は、1階:資材・印刷加工フロア、2階:製本加工フロア、3階:制作、システム管理フロアなどを見学しました。

見学終了後東條社長から、「『安心の生産工場』をスローガンに掲げています。お客さまに「安心」を提供するには、制作物のクオリティーも重要ですが、何よりも基本になるのは「人」だと考えています。人材のクオリティーを高めるためには、まず、上に立つ者が『自分の未熟な部分を改善し、成長する』というプロセスを従業員へしっかりと示すことです。

身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
3月上旬 ~ 9月下旬	<b>事業・行事</b> 平成22年度 前期 鉛・有機溶剤取扱者健康診断 <b>検診委託先</b> (社)オリエンタル労働衛生協会 <b>検診場所</b> 受診申し込み事業所 鉛・有機溶剤取扱者については、それぞれ年2回(6か月毎に1回)の受診が法律によって義務付けられています。
5月21日(金)	<b>事業・行事</b> 「平成22年度 通常総代会」 <b>ところ</b> 名古屋観光ホテル 詳細調整中

身近な催し物のお知らせ(関係団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考
6月18日(金) ~19日(土)	<b>事業・行事</b> 中部地区印刷協議会 上期会議 <b>ところ</b> ホテル日航金沢 詳細調整中
5月10日(月)	<b>事業・行事</b> 中部グラフィックコミュニケーションズ工業組合「平成22年度 通常総会」 <b>ところ</b> プリンセスガーデンホテル 詳細調整中
5月29日(土)	<b>事業・行事</b> (社)日本印刷学会 中部支部 平成22年度 初級向け印刷基礎技術セミナー 「印刷技術の進化に対応する技術研修と人材育成」 <b>ところ</b> ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)11階 1101号室 会費 7,000円/人(3人以上の参加企業は、6,000円/人)

従業員の意識を変えていく努力を続けるためには、私たち経営者の努力が必要不可欠です。これからの業界を変革するのは若手の育成です。業界全体・組織全体で意識改革する必要があるのです」その姿勢を聞くことができました。その後、企画設置を行った経営革新委員会佐藤委員長より、東條社長への感謝の言葉があり、企業見学会を終了しました。

レポート:経営革新委員会岩田秀樹(㈲岩田製本所)

## 生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか? 私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ製造株式会社  
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

www.toyoink.co.jp

### 愛知県印刷工業組合 組合員の皆様へ

代理店: 有限会社 サンライズ  
TEL 052-901-3700  
担当: 加藤

保険料下げたい!

補償見直したい!

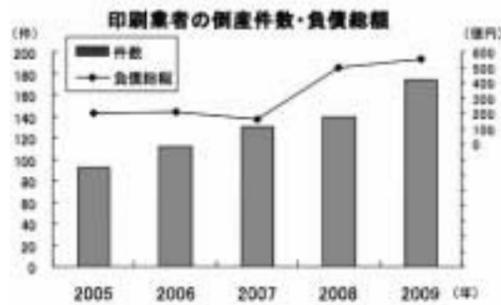
機械保険見直したい!

## 無料保険相談実施中!!!!

### 損害保険集団割引制度をスタートしました!

ご加入頂ける方は愛知県印刷工業組合に加盟する企業と従業員の皆様です。

## 印刷企業の倒産 2009年は過去5年間で最多



### 1) 推移 ~ 2005年以降で最多 ~

2009年の印刷業者の倒産は前年比25.2%増の174件(前年139件)発生し、過去5年では最多となった。一方、負債総額は前年比12.4%増の555億8,400万円(前年494億5,200万円)となり、こちらも過去5年では最高となった。

2) 負債額別 ~ 負債1億円未満の小規模倒産が59.8% ~ 負債額別みると、負債1億円未満の小規模倒産が全体の59.8%を占めた。「1,000~5,000万円未満」が67件(構成比38.5%)で最も多く、続いて、「1億~5億円未満」が48件(同27.6%)、「5,000万~1億円未満」が37件(同21.3%)となっている。一方で、「50億~100億円未満」の倒産も3件(同1.7%)発生している。

3) 従業員別 ~ 中小・零細企業が高水準で推移 ~ 従業員別では、「10人未満」が121件(構成比69.6%)で最も多く、「10人~50人未満」の45件(同25.9%)が続く。需要の低迷や競争激化など、印刷業者の収益環境は厳しく、体力に乏しい中小・零細業者の倒産が高水準に推移した。一方で、「100~300人未満」の大型倒産は4件(同2.3%)となり、2005年以降では最多となった。従業員の合計は、前年比で26.6%増の2,051人となった。

4) 態様別 ~ 生産型が96.6%を占める ~ 態様別でみると、「破産」が167件、(構成比96.0%)

となり、「特別清算」(1件、同0.6%)を含めて生産型が全体の96.6%を占めた。印刷業者の倒産は中小・零細企業が多数を占めているため、再建型の手続きをとる企業が少なく、清算型が大半を占める結果となった。一方、「民事再生法」は6件(同3.4%)にとどまり、「会社更生法」は発生しなかった。

5) 主因別 ~ 「不況型倒産」が高水準で推移 ~ 主因別みると、販売不振や業界不振、売掛金回収難などを合わせた「不況型倒産」が139件(構成比79.9%)発生、全体の約8割を占めた。そのうち、「販売不振」が130件(構成比74.7%)で最も多く、「業界不振」(5件、同2.9%)、「売掛金回収難」(4件、同2.3%)と続いた。

6) 業歴別 ~ 業歴30年以上が約半数を占める ~ 業歴別みると、業歴が「30年以上」の倒産が79件(構成比45.4%)となり、約半数を占める結果となった。次いで、「20~30年未満」(47件、同27.0%)、「15~20年未満」(17件、同9.8%)となり、業歴の長い企業に倒産が多い。

7) 地域別 ~ 「関東」「近畿」の2地区で7割 ~ 地域別みると、「関東」が83件(構成比47.7%)でトップを占め、「近畿」(45件、同25.9%)、「中部」(11件、同6.3%)が続く。依然として都市圏での倒産が目立っており、2008年秋以降の不動産市況悪化による広告費削減の影響を特に大きく受けた。

8) 今後の見通し 2009年は、大日本印刷、凸版印刷の大手2社が、それぞれ資本・業務提供を通じて印刷以外の事業へと進出する動きが注目を集めた。その一方で、業界の9割以上を占める中小・零細の印刷業者は、受注競争が激化する中でコストダウンや商品の高付加価値に注力するものの、収益の低迷は以前と続いている。倒産件数の増加もさることながら、中堅クラスの倒産が増加基調にあるのが気がかりだ。景気の回復が早急に見込めない以上、企業が広告宣伝費を抑制する傾向はしばらく続くと思われる。今後も印刷業者の倒産は高水準で推移する見通しである。

## 情報コーナー



新世代のデジタルサイネージ

㈱光文堂(讀枝秀昭社長)では、需要低迷が続く印刷業界活性化の一助にと、多様な「新規事業領域拡大」のノウハウを提案しているが、今回その最強の武器となる「KBD デジタルサイネージソリューション」を発表した。これは1月に開かれた「光文堂新春機材展」において初披露された商品であるが、その奇抜なシステムに、参観者の多くが驚きの眼差しと高い関心を示した。

この耳慣れないデジタルサイネージとは、「デジタル(Digital)=アナログ//、サイン(sign)=看板・ポスター・標識、エージ(age)=集合体(語尾についた場合)」と分解でき、屋外、店舗、交通機関、公共施設、キャンパス、オフィスなどの場所で、ネットワークに接続したディスプレイ端末を使って情報を発信するシステムのことである。タイムリーに映像や情報をネット経由で配信することができる。

日本語にすると電子看板とか電子ポスターという訳がポピュラーになっている。光文堂が推奨するのは、一方的な配信ではなく、双方向の機能が加わっている新世代デジタルサイネージである。

### 【情報発信をしたい人のお手伝い業】

光文堂が、事業領域拡大のチャンスとして提案している理由に、「今までのノウハウが生かせるビジネス、ノウハウを持った先行他社が存在する従来からの領域ではなく、新たに生まれるビジネス領域」の2点がある。この2つの要件が満たされれば、新規ビジネス成功の確率

## 印刷業界へニュービジネスの提案

# 「KBD デジタルサイネージソリューション」

## ㈱光文堂

は高まるとし、数年後に一兆円規模と予想されるデジタルサイネージ市場を有望視。その市場に向け新商品のデジタルサイネージを強力に推奨している。

印刷業界は、「情報発信をしたい人のお手伝い業」への業態変革が要求されている。この発想は、印刷物による情報伝達力が、インターネットや携帯電話サービスの発達などで、相対的に落ち込んでおり、更に、景気も思わしくなく苦境が続いていることからきている。この状況を打開する手段の一つに「お手伝い業」を掲げ、クライアントが求めている効果的な広告、つまり(購入)対象者が「アッ」とか、「なるほど」、「これは面白い」と驚くような提案をしていこうとするものである。

紙媒体に縛られることなく、幅広いサービスの多様化に対応しながら、より多くのクライアントのニーズを満たしていく。特に、映像がインタラクティブに変化し、「目立つ」「綺麗」「楽しい」といった、従来にない情報伝達ができる注目度NO.1。それが、「KBD デジタルサイネージソリューション」である。

### 【主な特徴】

人感センサー対応カメラの採用で、利用者のアクションに反応する双方向の楽しいコミュニケーションが可能。4つのデジタルサイネージ、ウインドウタイプ、フロアタイプ、バーチャルマネキン、ミニバーチャルマネキンを用意。

従来の電子ポスター・電子看板・電子案内板などといわれるデジタルサイネージの基本を網羅している。

ディスプレイによる表現に加え、プロジェクターと高輝度フィルムとの組み合わせで、より多くの場所で多彩な表現ができる。例えば、人の動きに合わせて動画が変化し、等身大の亚克力板に映像を写すことで立体的な演出も可能である。

タッチセンサー方式では、正確な詳細案内が可能。

### 問い合わせ先

㈱光文堂 〒460-0022 名古屋市中区金山2-15-18  
TEL052(331)4111 FAX052(331)4691

# OLIVER496SD

## 大型多色SDシリーズ 第一弾

菊全判4色  
印刷機

**オールインワン**  
最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

**Sakurai**  
株式会社 桜井クラフィックシステムズ  
http://www.sakurai-gs.co.jp

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9  
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所 〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所 〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31  
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8  
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

ISO 9001・14001 認証取得  
環境対応製品

ウインドウタイプ

フロアタイプ

バーチャルタイプ

ミニバーチャルマネキン

## 業界短信

「Japan Color認証」第一期認定工場33社が決まる

(社)日本印刷産業機械工業会が進めている「Japan Color認証制度」標準印刷認証の第一期認定工場33社が発表された。取得工場は、Japan Color基準に基づき印刷された印刷物に、認証マークの使用が認められ、クライアントやエンドユーザーに対して、適切な色管理が行われていることを証明できるようになった。

愛印工組関連では、中日本印刷(株)豊田第一工場(愛知県豊田市)、西川コミュニケーションズ(株)グラフィックアートセンター(愛知県愛知郡)の2社が認証を得た。

UV印刷普及協会活動本格化「UVマーク」決める



(株)エムアイシーグループ三浦康彦社長が発起人となり昨年11月に発足した「UV印刷普及協会」(三浦康彦会長)の活動が本格化している。UV印刷普及協会は、UV印刷機を備える企業の集まりで、UV印刷(ノンVOC印刷)の普及を目的に設立された。先に開かれた新年総会で、活動内容、ノンVOC(UV)マークを社会性のあるマークとして周知徹底していく、JP展への参加(検討中)、会員とクライアントが一体となった「カーボンオフセット」の推進、などが報告された。

この中で、カーボンオフセットに関して、「印刷物を発注するお客様に、マングローブの植樹を提案する。印刷物発注金額の0.2%程度をNGOに寄付し、CO2削減を目指す」とし、「印刷文化人としてお客様との取引の中で、環境への貢献度を積極的に進めたい」と三浦会長は抱負を語っている。

(株)光文堂新社長に讃岐秀昭氏が就任

(株)光文堂では、小澤久幸社長の死去に伴い、新社長に専務の讃岐秀昭(さぬきひであき)氏が就任した。讃岐新社長は、昭和29年9月21日愛知県豊橋市生まれ。京都産業大学経営学部経営学科卒。55歳。

滋賀県印刷工業組合「わかりやすい印刷物のつくり方(MUDの手引き)」を発行

滋賀県印刷工業組合(佐々木博理 理事長)では、活字や色を取り扱う印刷のプロとして、また社会貢献の一つとして、「MUD(メディア・ユニバーサルデザイン)の手引き」(A4判16頁)を発行した。

「カラー印刷技術の発展で、数年前までは白黒が大半だった新聞・雑誌・教科書・一般書籍・地図や案内図などがカラフルになり、色を使って情報を伝えることが多くなっている。そのため高齢者や色覚障害者が情報を読み取り難くなっているケースが増えている。色を上手に使い、なるべくすべての人に美しく感じられるカラフルなデザインを創りつつ、なおかつ情報を正確に伝えることが大切である」としている。

わかりやすい印刷物について、「文字は12ポイント未満はできるだけ避ける(A4用紙の場合) 文字はゴシック体を基本とし、必要に応じて他書体を使う、全体のバランスを考えながら、適度な空白・空間を取っている、専門用語などを使う場合は、注釈を設けて説明する、表、グラフ、絵、写真などを積極的に使っている、

形の違い・位置の違い・線種やハッチング(網掛け)の違いなどを併用し、色だけで情報を伝えない、どのような色覚の人にもなるべく見



分けやすい配色を選ぶ、いろいろな読者がいることを意識して作っている、目に優しく、見て美しいデザインを追及している」とまとめている。〔詳細については〕

滋賀県印刷工業組合 / 〒524-0037 滋賀県守山市梅田町2-1 セルバ守山1307号 (TEL077-582-6184) まで。

## 事務局だより

桜の開花が全国的に早まっているそうで、名古屋地方では既に開花宣言が出されています。この機関誌がお手元に届く頃には、満開の花見頃は過ぎて、落花盛んの状況かもしれません。先月号に掲載できませんでしたが中部地区印刷協議会下期会議から「最低賃金価格制度」「業態変革事例発表」、それと「水上会長の挨拶文」を掲載しました。業態変革事例発表での(株)ツキオカの月岡社長の講演は是非一読ください。「日本一の箔押業」として常に切磋琢磨されている同社の展望を垣間見ることができると思います。愛知県統計課より「あいちの工業」と題した、平成20年度の工業統計調査結果報告書が届きましたので、来月号において、愛知県の産業の動向をお知らせいたします。

## あいちの印刷

No.461

平成22年4月10日発行

発行人 高井 昭弘

編集 組織・共済・労務委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962 - 5771

FAX 052 951 - 0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)